

平成21年度徳島県公立高等学校生徒募集選抜要項

徳島県立の各高等学校及び徳島市立高等学校、鳴門市立鳴門工業高等学校の平成21年度入学者選抜は、この要項によって実施する。

なお、各高等学校の募集定員は、別に定める。

《全日制の課程・定時制の課程》

I 前期選抜

[日 程]

事 項	日 時
願 書 受 付 期 間	平成21年1月26日（月）から1月28日（水）まで 受付時間は午前9時から午後4時30分までとし、最終日は正午までとする。
検 査 日	[1日で実施する高等学校] 平成21年2月5日（木） [2日で実施する高等学校] 平成21年2月5日（木）及び2月6日（金）
選抜結果の通知日	平成21年2月14日（土）

第1 募 集

1 実 施 校

(1) 全日制の課程

すべての高等学校で実施する。

(2) 定時制の課程

徳島中央高等学校及び池田高等学校で実施する。

2 学校の特徴、出願要件等

次の(1)から(3)の高等学校ごとの内容については、別に定める。

(1) 学校の特徴、志願してほしい生徒像

高等学校ごとに、学校の特徴、志願してほしい生徒像を示す。

(2) 出願要件

学校の特徴、志願してほしい生徒像に基づき、次に示す3項目について、高等学校ごとに出願要件を示すものとする。

ア 学科（86・87ページの公立高等学校一覧に掲げる小学科・類をいう。「小学科・類」の欄が空欄の場合は大学科をいう。以下同じ。）の教育内容における学習活動面を重視する要件

イ 芸術・文化，体育・スポーツ，ボランティア，人権，その他の活動面を重視する要件

ウ 競技力向上スポーツ指定校（別表1，35ページ）における指定競技の活動面を重視する要件
ただし、出願要件ア・イ・ウともに、受検生・保護者にわかりやすい、具体的なものにする。

(3) 募集割合及び募集人員

ア 各高等学校の募集定員に対する募集割合は、学科により、次に示す範囲内とする。

(ア) 普通科は、募集定員の15～30%とする。

(イ) 専門学科、総合学科は、募集定員の15～50%（ただし、芸術科については15～100%）とする。

イ 各高等学校の学科ごとに出願要件ア・イの募集割合及び出願要件ウの募集人員を示す。

3 出願資格

出願資格者は、志願先高等学校への入学を第1志望とし、次の(1)から(3)のいずれかに該当する者とする。

(1) 平成21年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を卒業見込又は修了見込の者

(2) 中学校を卒業又は修了した者（以下「中学校卒業生」という。）

(3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

第2 出 願

1 出願の制限

(1) 入学志願者（以下「志願者」という。）は、県立高等学校の場合、徳島県立高等学校通学区域等に関する規則（90ページ）に基づき、出願するものとする。また、市立高等学校の場合、当該市立高等学校の通学区域を定めた規則（91ページ）に基づき、出願するものとする。

なお、全日制の課程において、城ノ内高等学校、川島高等学校を除く普通科に出願する場合、学区外の高等学校に出願する者については、次のア又はイに定めるところによる。

ア 学区内志願者扱いを受ける特別な理由がある場合

所属学区変更許可願（様式第7号）及びそれを証明する書類を志願先高等学校長に提出し、その許可を受けた場合に限り、学区内志願者としての扱いを受ける。

該当者は、別記3（30ページ）により、手続を行わなければならない。

イ 前項アに該当しない場合

学区外志願者としての扱いを受ける。

(2) 県外に居住する者で、一家転住等の特別な事情があつて、本県の実日制の課程の高等学校を志願する場合は、別記4（31ページ）により、手続を行わなければならない。

(3) 1校1学科に限り出願することができる。

ただし、出願要件イ・ウにおいて、志望する大学科に前期選抜を実施する小学科・類が2以上あるときは、その小学科・類名を志望順に記して出願することができる。

また、出願要件イ・ウにおいて、志願先高等学校に前期選抜を実施する大学科が2以上あるときは、その大学科・小学科・類名を志望順に記して出願することができる。

(4) 全日制の課程と定時制の課程の併願はできない。

(5) 出願後、志望校又は志望学科を変更することはできない。

2 受付期間

入学願書等の受付期間は、1月26日（月）から1月28日（水）までとする。なお、受付時間は午前9時から午後4時30分までとし、最終日は正午までとする。

郵送により提出する場合は、書留速達・親展で、1月28日（水）正午までに必着のこと。ただし、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

3 出願の手続等

(1) 志願者による手続

ア 志願者は、次の書類等を、中学校長を経由して志願先高等学校長（徳島科学技術高等学校は、徳島東工業高等学校内に設置された徳島県立徳島科学技術高等学校入学者選抜委員会とする。以下同じ。）に提出する。

(ア) 入学願書（様式第1-1号）

(イ) 受検票（様式第2-1号）

(ウ) 入学考査料（全日制の課程は2,200円、定時制の課程は950円）

入学願書の所定の欄に、徳島県収入証紙をはる。ただし、市立高等学校の志願者は現金で中学校長に提出する。

(エ) 選抜結果通知用封筒（様式第3号）

封筒の所定の位置に290円切手（料金改定があった場合は、改定後の料金の切手）をはる。

(オ) 志願先高等学校長が定める書類（該当者のみ、別表2、36・37ページ）

- ・ 中学校時代の学校内外の活動の記録（様式第9号、独自様式を定めている高等学校もある。）
- ・ 志望理由書（様式第10-1号、独自様式を定めている高等学校もある。）
- ・ 自己表現調査票（様式第11号、独自様式を定めている高等学校もある。）
- ・ その他、志願先高等学校長が前期選抜実施要領に示した書類

(カ) 所属学区変更許可願及びそれを証明する書類（該当者のみ）

イ 志願者のうち特別な事情により欠席が多い者は、自己申告書（様式第12号）を提出することができる。なお、自己申告書は、本人及び保護者が記入し、封をした上で中学校長に提出する。

ウ 特別な理由により、公立高等学校に在籍のまま志願する者は、在籍する高等学校長の承認を受け、上記アに示された書類のほか、志願承認書（様式第15号）を中学校長に提出する。

エ 「第1 募集 3 出願資格(3)」による者は、市町村教育委員会から用紙等を受け取り、上記アに示された書類のほか、高等学校への入学資格の証明書及び最終学校又は認定試験の成績証明書を添えて、直接、志願先高等学校長に提出する。

(2) 中学校長による手続

中学校長は、志願者から提出された上記(1)ア～ウの書類等のほか、次の書類を志願先高等学校長に提出する。なお、教科評定分布表は、3月2日（月）までに徳島県教育委員会（以下「委員会」という。）にも提出する。

ア 調査書（様式第4号）

イ 志願者名簿（様式第5-1号）

ウ 教科評定分布表（様式第6号）

エ 副申書（様式第13号、調査書の評定の記載ができない志願者について中学校長が作成したもの）

オ 特別措置申請書

学校指定教科の検査、作文、面接などにおいて特別措置を必要とする志願者については、特別措置申請書（様式第14-1号）を提出する。ただし、英語のリスニングテストにおいて特別措置を必要とする志願者については、英語リスニングテスト特別措置申請書（様式第14-2号）を提出する。

(3) 高等学校長による措置

ア 各高等学校長は、所定の期間内に、午前9時から午後4時30分（最終日は正午）までの間、出願

書類を受け付ける。天災地変などやむを得ない場合のほかは、期間外及び時間外の受付は一切認めない。また、郵送によるものも、受付最終日の正午までに到着しなければならないが、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

イ 各高等学校長は、受付に当たっては、志願者受付・受検者名簿（様式第23-1号）を作成する。

また、提出された受検票に受検番号を記入し、契印及び写真への割印を施した上、中学校長を経由して志願者に交付する。

なお、「第1 募集 3 出願資格(3)」による者には、直接、受検票を交付する。

ウ 城ノ内高等学校、川島高等学校を除く普通科の各高等学校長は、学区内志願者の学区について、公正で適正な審査を行う。

なお、学区外と認められる志願者については、高等学校長は中学校長を通じ、2月3日（火）までに学区内外の変更手続をとらせる。

また、「所属学区変更許可願」を提出した志願者については、別記3（30ページ）によるものとする。

エ 各高等学校長は、入学願書受付締切後、速やかに課程別、学科別志願者数を委員会に報告し、さらに2月3日（火）までに、志願者数報告書（様式第26号）により委員会に報告する。

公立高等学校に在籍のままで志願する者から志願承認書を受け付けた高等学校長は、2月3日（火）までに志願承認書の写しを添えて、在籍のままで志願する者を委員会に報告する。

第3 調査書及び教科評定分布表

1 調査書の取扱い

(1) 調査書中の「各教科の学習の記録」の評定は、選抜の資料として用いるものとする。

なお、志願してほしい生徒像、出願要件などにより、各学年及び各教科間の比率を変えることができる。

(2) 「各教科の学習の記録」以外の記載事項についても、選抜の資料とすることができる。

2 調査書及び教科評定分布表の作成等

調査書及び教科評定分布表の作成に当たっては、公正を期するため、中学校ごとに調査書作成委員会を設けるものとする。また、各高等学校においては調査書評定委員会を設けるものとする。

なお、作成における詳細については、別記1（28ページ）によるものとする。

第4 検 査

1 検査の内容

志願者全員に対して、学校指定教科の検査、作文の両方又はいずれか1つを実施する。また、学校・学科の特色に応じ、面接、自己表現、実技検査を実施することができる。

なお、検査の内容は、次により、実施校ごとに定める。

(1) 学校指定教科の検査

教科横断的な総合問題による検査、特定教科の検査（2教科まで）のいずれか1つを行う。

(2) 作文

志願してほしい生徒像、出願要件などと関連して、志願者の学習等への関心・意欲や能力・適性等

をみる作文を課す。

(3) 面接

個人面接又は集団面接を行う。

(4) 自己表現

教科や特別活動等に関わる分野から、受検生の興味・関心、進路希望、特技などに基づき、自己表現を行い、それを話題に面接を行う。

(5) 実技検査

学科の特性に応じ、音楽、美術、書道、技術・家庭等の分野の実技検査を行う。

2 検査問題の作成

検査問題の作成に当たっては、次の(1)～(3)に留意するものとする。

(1) 学校の特色、志願してほしい生徒像、出願要件を反映した問題の作成に努めること。

(2) 生徒の多様な個性や能力・適性、意欲、努力の成果などについて、優れた面を積極的に評価する観点から創意工夫すること。

(3) 問題の程度は、中学校卒業程度とし、中学校の生徒の普通の学習に過重な負担をかけないよう十分配慮すること。

3 検査の実施

(1) 検査期日

2月5日(木)、又は2月5日(木)及び2月6日(金)のいずれかのうちから実施校が定める。
なお、各高等学校が実施する検査時間割の詳細は実施校ごとに定める。

(2) 実施会場

志願先高等学校の本校(徳島科学技術高等学校については徳島東工業高等学校で実施する。)及びその学校長の指定する分校

(3) 特別措置を必要とする志願者への対応

各高等学校長は、学校指定教科の検査、作文、面接などにおいて、特別措置を必要とする志願者について、中学校長と十分に連絡をとり、適切な措置を決め、その結果を2月3日(火)までに中学校長及び委員会に報告する。その際、委員会には特別措置申請書の写しを併せて提出する。

(4) 受検者数の報告

各高等学校長は、検査当日の課程別、学科別受検者数を速やかに委員会に報告する。

(5) 結果の処理

ア 各高等学校長は、検査終了後直ちに、各高等学校で実施した検査の採点を行い、その処理の厳正をはからなければならない。

イ 各高等学校長は、志願者受付・受検者名簿に検査の成績を記入し、その写しを3月24日(火)までに委員会に提出する。その際、受検者数集計表(様式第30-1号)、県外からの志願者集計表(様式第31-1号、該当者がいる場合)も併せて提出する。

第5 選抜の方法

1 各高等学校長は、調査書、各高等学校において実施した検査の結果などを資料として、各高等学校の

志願してほしい生徒像，出願要件などに基づき，当該高等学校・学科等の教育を受けるに足る資質と能力を総合的に判定して選抜する。

なお，自己申告書や副申書が提出された場合は，これを選抜の資料に加える。

2 城ノ内高等学校，川島高等学校を除く普通科において，通学区域外の取扱いを受ける者の選抜は，通学区域内の志願者と同等に取り扱うものとする。

なお，通学区域外志願者の合格者数は，第1学区及び第2学区は総募集定員の5%以内，第3学区は各高等学校ごとに募集定員の5%以内とする。ただし，出願要件ウによる通学区域外からの合格者については，この制限を適用しない。

第6 選抜結果の通知等

- 1 各高等学校長は，2月14日（土），受検者に選抜の結果を様式第25-1～4号により配達記録郵便によって通知するとともに，志願者名簿により受検者の出身中学校長に通知する。
- 2 各高等学校長は，速やかに課程別，学科別合格者数を委員会に報告し，さらに，2月16日（月）までに，合格者数報告書(様式第27号)により委員会に報告する。

第7 その他

- 1 前期選抜の合格者は，後期選抜及び第2次募集に出願することはできない。
- 2 前期選抜の不合格者は，前期選抜で受検した高等学校も含めて，改めて後期選抜に出願することができる。
- 3 出願を取り消す者が出た場合は，中学校長等は，速やかに出願取消届（様式第19号）を当該志願者の志願先高等学校長に提出しなければならない。
- 4 入学を辞退する者が出た場合は，中学校長等は，速やかに入学辞退届（様式第20号）を当該志願者の志願先高等学校長に提出しなければならない。

Ⅱ 後期選抜

[日 程]

事 項	日 時
願 書 受 付 期 間	平成21年2月23日（月）から2月25日（水）まで 受付時間は午前9時から午後4時30分までとし、最終日は正午までとする。
志願変更受付期間	[志願変更願の受付] 平成21年3月3日（火）から3月4日（水）まで [志願変更による出願受付] 平成21年3月3日（火）から3月5日（木）まで 受付時間は午前9時から午後4時30分までとする。
学 力 検 査	平成21年3月10日（火）
面 接 等	平成21年3月11日（水）
追 検 査， 追 面 接	平成21年3月12日（木）
選抜結果の通知日	平成21年3月17日（火）

第1 募 集

1 実 施 校

すべての高等学校で実施する。

2 募 集 人 員

募集定員から前期選抜及び連携型中高一貫教育に係る入学者選抜における合格者数を減じた人数とする。

なお、前期選抜及び連携型中高一貫教育に係る入学者選抜において、入学を辞退する者が出た場合には、その数を加えるものとする。

3 出 願 資 格

出願資格者は、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ、前期選抜又は連携型中高一貫教育に係る入学者選抜においていずれの高等学校にも合格していない者とする。

- (1) 平成21年3月に中学校を卒業見込又は修了見込の者
- (2) 中学校卒業者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

第2 出 願

1 出 願 の 制 限

(1) 志願者は、県立高等学校の場合、徳島県立高等学校通学区域等に関する規則に基づき出願するものとする。また、市立高等学校の場合、当該市立高等学校の通学区域を定めた規則に基づき出願するものとする。

なお、全日制の課程において、城ノ内高等学校、川島高等学校を除く普通科に出願する場合、学区外の高等学校に出願する者については、次のア又はイに定めるところによる。

ア 学区内志願者扱いを受ける特別な理由がある場合

所属学区変更許可願（様式第7号）及びそれを証明する書類を志願先高等学校長に提出し、その許可を受けた場合に限り、学区内志願者としての扱いを受ける。

該当者は、別記3（30ページ）により、手続を行わなければならない。

イ 前項アに該当しない場合

学区外志願者としての扱いを受ける。

(2) 県外に居住する者で、一家転住等の特別な事情があつて、本県の全日制の課程の高等学校を志願する場合は、別記4（31ページ）により、手続を行わなければならない。

(3) 2以上の高等学校に出願することはできない。

(4) 志望する大学科に後期選抜を実施する小学科・類が2以上あるときは、その小学科・類名を志望順に記して出願することができる。

また、志願先高等学校に後期選抜を実施する大学科が2以上あるときは、その大学科・小学科・類名を志望順に記して出願することができる。

(5) 全日制の課程と定時制の課程の併願はできない。

2 受付期間

入学願書等の受付期間は、2月23日（月）から2月25日（水）までとする。なお、受付時間は午前9時から午後4時30分までとし、最終日は正午までとする。

郵送により提出する場合は、書留速達・親展で、2月25日（水）正午までに必着のこと。ただし、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

3 出願の手続等

(1) 志願者による手続

ア 志願者は、次の書類等を、中学校長を経由して志願先高等学校長に提出する（ただし、徳島科学技術高等学校については、提出書類を全日制課程は徳島東工業高等学校で、定時制課程は徳島中央高等学校で受け付ける。志願変更、追検査、追面接及び第2次募集においても同じ。）。

(ア) 入学願書（様式第1-2号）

(イ) 受検票（様式第2-2号）

(ウ) 入学考査料（全日制の課程は2,200円、定時制の課程は950円）

入学願書の所定の欄に、徳島県収入証紙をはること。ただし、市立高等学校の志願者は現金で中学校長に提出する。

(エ) 選抜結果通知用封筒（様式第3号）

封筒の所定の位置に290円切手（料金改定があつた場合は、改定後の料金の切手）をはること。

(オ) 所属学区変更許可願及びそれを証明する書類（該当者のみ）

イ 志願者のうち特別な事情により欠席が多い者は、自己申告書（様式第12号）を提出することができる。なお、自己申告書は、本人及び保護者が記入し、封をした上で中学校長に提出する。

ウ 特別な理由により、公立高等学校に在籍のまま志願する者は、在籍する高等学校長の承認を受け、上記アに示された書類のほか、志願承認書（様式第15号）を中学校長に提出する。

エ 「第1 募集 3 出願資格(3)」による者は、市町村教育委員会から用紙等を受け取り、上記ア

に示された書類のほか、高等学校への入学資格の証明書及び最終学校又は認定試験の成績証明書を添えて、直接、志願先高等学校長に提出する。

(2) 中学校長による手続

中学校長は、志願者から提出された上記(1)ア～ウの書類等のほか、次の書類を志願先高等学校長に提出する。なお、教科評定分布表は、3月2日(月)までに委員会にも提出する。

ア 調査書(様式第4号)

イ 志願者名簿(様式第5-2号)

ウ 教科評定分布表(様式第6号)

エ 副申書(様式第13号、調査書の評定の記載ができない志願者について中学校長が作成したもの)

オ 特別措置申請書

学力検査・面接等において特別措置を必要とする志願者については、特別措置申請書(様式第14-1号)を提出する。ただし、英語のリスニングテストにおいて特別措置を必要とする志願者については、英語リスニングテスト特別措置申請書(様式第14-2号)を提出する。

(3) 高等学校長による措置

ア 各高等学校長は、所定の期間内に、午前9時から午後4時30分(最終日は正午)までの間、出願書類を受け付ける。天災地変などやむを得ない場合のほかは、期間外及び時間外の受付は一切認めない。また、郵送によるものも、受付最終日の正午までに到着しなければならないが、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

イ 各高等学校長は、受付に当たっては、志願者受付・受検者名簿(様式第23-2号)を作成する。

また、提出された受検票に受検番号を記入し、契印及び写真への割印を施した上、中学校長を経由して志願者に交付する。

なお、「第1 募集 3 出願資格(3)」による者には、直接、受検票を交付する。

ウ 城ノ内高等学校、川島高等学校を除く普通科の各高等学校長は、学区内志願者の学区について、公正で適正な審査を行う。

なお、学区外と認められる志願者については、高等学校長は中学校長を通じ、3月9日(月)までに学区内外の変更手続をとらせる。

また、「所属学区変更許可願」を提出した志願者については、別記3(30ページ)によるものとする。

エ 各高等学校長は、入学願書受付締切後、速やかに課程別、学科別志願者数を委員会に報告し、さらに2月26日(木)午後5時までに、志願者数報告書(様式第28号)により委員会に報告する。

公立高等学校に在籍のままで志願する者から志願承認書を受け付けた高等学校長は、3月9日(月)までに志願承認書の写しを添えて、在籍のままで志願する者を委員会に報告する。

オ 高等専門学校受検者、合格者について

(ア) 各高等学校長は、入学願書受付締切後、速やかに志願者のうち高等専門学校に出願した者の課程別・学科別人数を委員会に報告し、さらに2月26日(木)午後5時までに、高等専門学校併願者名簿(様式第29号)により委員会に報告する。

(イ) 各高等学校長は、高等専門学校合格等に伴い出願を取り消した者及び前期選抜の入学を辞退した者について、3月2日(月)正午現在の人数を速やかに委員会に報告する。

第3 志願変更

1 志願変更

- (1) 志願者は、受付締切後、先に出願した高等学校、課程、志望学科及び志望学科順位を1回に限り変更することができる。
- (2) 第1志望の志望学科の変更を行わないで、その他の志望学科及び志望学科順位の変更はできない。

2 受付期間

志願変更願等の受付期間は、次のとおりとする。

志願変更願の受付期間：3月3日(火)から3月4日(水)まで

志願変更による出願受付期間：3月3日(火)から3月5日(木)まで

受付時間は午前9時から午後4時30分とする。天災地変などやむを得ない場合のほかは、期間外及び時間外の受付は一切認めない。

郵送により志願変更による出願書類を提出する場合は、書留速達・親展で、3月5日(木)午後4時30分までに必着のこと。ただし、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

3 志願変更の手続等

(1) 志願変更願の提出

志願変更を行う者は、志願変更願の受付期間中に、志願変更願(様式第16号)を中学校長を経由して、先に出願した高等学校長に提出する。なお、「第1募集 3 出願資格(3)」による者は、直接、先に出願した高等学校長に志願変更願を提出する。

また、全日制の課程から定時制の課程、又は、県立高等学校から市立高等学校に志願変更する場合は、新たに出願する高等学校の入学願書を作成して、先に出願した高等学校長に提出する。

(2) 願い出に対する高等学校長の措置

ア 志願変更願の提出を受けた高等学校長は、次の書類等を中学校長を経由して志願変更者に返却する。この際、中学校長は志願変更書類受領書(様式第17号)を高等学校長に提出する。

(ア) 入学願書

所定欄に職印を押して、後期選抜志願者受付・受検者名簿に登載されていたことの証明をすること。

ただし、全日制の課程から定時制の課程、又は、県立高等学校から市立高等学校に志願変更する場合は、新たに作成された入学願書の所定欄に職印を押し、先に提出されていた入学願書とともに返却する。

(イ) (ア)以外の出願書類

イ 入学考査料は、入学願書に徳島県収入証紙をはりつけたまま、中学校長を通じ志願者に返却する。

ただし、市立高等学校に出願していた志願者については、入学考査料を現金で返却する。

ウ 「第1募集 3 出願資格(3)」による者については、上記ア、イの書類等を、直接、本人に返却する。

エ 志願変更を願い出た者の記載事項は、志願者受付・受検者名簿、志願者名簿から抹消する。

(3) 志願変更による出願

ア 高等学校長から返却を受けた入学願書及び副申書については、訂正して用いる。(ただし、全日

制の課程から定時制の課程，又は，県立高等学校から市立高等学校に志願変更する場合は，新たに作成した入学願書を用いる。）

訂正箇所には，入学願書については保護者印を，副申書については中学校の担任教員の印を押すものとする。なお，調査書はそのまま用い，受検票及び自己申告書は新たに作成し，提出する。

イ 志願承認書については，改めて在籍する高等学校長の承認を受け，提出する。

ウ 志願者名簿は該当者のみ記入し提出する。

エ 教科評定分布表は，後期選抜出願時に当該受検校に提出していない中学校に限り提出する。

オ 定時制の課程から全日制の課程に志願変更する場合は，入学願書の所定の位置に，入学考査料の不足額1,250円分の徳島県収入証紙をはりつけることにより，入学考査料を納入する。

市立高等学校に出願していた志願者が，県立高等学校に志願変更する場合は，入学願書の所定の欄に，徳島県収入証紙をはりつけることにより，入学考査料を納入する。

カ 志願変更願を提出し，願書等の返却を受けた者が志願変更を行わないで，もとの出願先に再出願することはできない。

(4) 志願変更による出願を受け付けた高等学校長による措置

ア 高等学校長は，提出された受検票に受検番号を記入し，契印及び写真への割印を施した上，中学校長を経由して志願者に交付する。

イ 高等学校長は，受付締切後，速やかに第1志望の課程別，学科別志願変更者数を委員会に報告する。

(5) 最終志願者数の報告

各高等学校長は，3月9日（月）正午までに，志願者数報告書（様式第28号）により，最終志願者数を委員会に報告する。

第4 調査書及び教科評定分布表

1 調査書の取扱い

(1) 調査書は，学力検査の成績と同等に扱う。

(2) 調査書中の「各教科の学習の記録」の評定は，学力検査を実施しない音楽，美術，保健体育，技術・家庭の4教科を重視する。

2 調査書及び教科評定分布表の作成等

「I 前期選抜 第3 調査書及び教科評定分布表 2 調査書及び教科評定分布表の作成等」に準ずる。

第5 学力検査及び面接

1 学力検査

(1) 対象者

志願者全員

(2) 検査期日

3月10日（火）

(3) 実施会場

志願先高等学校の本校（徳島科学技術高等学校については全日制課程は徳島東工業高等学校，定時制課程は徳島中央高等学校で実施する。）及びその学校長の指定する分校

(4) 日程及び配点

時 限	時 刻	教 科	配点
第1時限	9:05～10:00 (55分間)	国 語 (作文を含む。)	100
第2時限	10:20～11:05 (45分間)	数 学	100
第3時限	11:25～12:10 (45分間)	社 会	100
第4時限	13:00～13:45 (45分間)	理 科	100
第5時限	14:05～14:55 (50分間)	英 語 (リスニングテストを含む。)	100

(5) 問題の程度

問題の程度は、中学校卒業程度とする。

(6) 学力検査の特別措置

各高等学校長は、学力検査（英語のリスニングテストを含む。）において特別な配慮を必要とする志願者について、中学校長と十分に連絡をとり、適切な措置を決め、その結果を3月2日（月）までに中学校長及び委員会に報告する。その際、委員会には特別措置申請書の写しを併せて提出する。

また、特別措置申請者が志願変更する場合は、志願変更先の高等学校長は速やかに委員会に連絡する。

(7) 結果の処理

ア 各高等学校長は、検査終了後、直ちに採点を行い、厳正に処理しなければならない。

イ 各高等学校長は、志願者受付・受検者名簿に成績を記入し、その写しを3月24日（火）までに委員会に提出する。その際、受検者数集計表（様式第30-2号）、県外からの志願者集計表（様式第31-2号、該当者がいる場合）も併せて提出する。

(8) 受検者数の報告

各高等学校長は、検査当日の課程別、学科別受検者数を速やかに委員会に報告する。

2 面 接

(1) 対象者

志願者全員

(2) 実施期日

3月11日（水）

(3) 実施会場

志願先高等学校の本校（徳島科学技術高等学校については全日制課程は徳島東工業高等学校，定時制課程は徳島中央高等学校で実施する。）及びその学校長の指定する分校

(4) 面接方法

個人面接，集団面接のいずれかを実施する。（別表3，38ページ）

(5) 面接の特別措置

各高等学校長は、面接において特別な配慮を必要とする志願者について、中学校長と十分に連絡をとり、適切な措置を決め、その結果を3月2日（月）までに中学校長及び委員会に報告する。その際、委員会には特別措置申請書の写しを併せて提出する。また、特別措置申請者が志願変更する場合は、志願変更先の高等学校長は速やかに委員会に連絡する。

(6) 面接者数の報告

各高等学校長は、面接当日の課程別、学科別受検者数を速やかに委員会に報告する。

3 実技検査

高等学校長が必要と認める学校・学科においては、学科の特性に応じ、実技検査を行うことができる。

なお、実技検査は面接実施日に行う。

また、実技検査の内容は、実施校ごとに定める。(別記5, 33ページ)

第6 追検査及び追面接

学力検査、面接等の当日、急病、交通事故、天災その他やむを得ない理由で欠席した場合、追検査をもって学力検査、実技検査に、追面接をもって面接に代えることができる。

1 受検手続

追検査、追面接の受検を希望する者は、次の書類を、中学校長を経由して、追検査の場合は3月10日(火)までに、追面接の場合は3月11日(水)までに、志願先高等学校長に提出し、承認を得るものとする。

- (1) 追検査願(様式第18号, 学力検査当日欠席した者)
- (2) 追面接願(様式第18号, 面接当日欠席した者)
- (3) 欠席した理由を証明する医師の診断書又は警察、役場その他の証明書

2 実施期日

3月12日(木)

3 実施会場

志願先高等学校の本校(徳島科学技術高等学校については全日制課程は徳島東工業高等学校, 定時制課程は徳島中央高等学校で実施する。)及びその学校長の指定する分校

4 追検査

(1) 日程及び配点

追検査は、次により、全県同一問題で行い、5教科全てを受検するものとする。

時 限	時 刻	教 科	配点
第1時限	9:00～9:55(55分間)	国 語(作文を含む。)	100
第2時限	10:05～10:50(45分間)	数 学	100
第3時限	11:00～11:45(45分間)	社 会	100
第4時限	11:55～12:40(45分間)	理 科	100
第5時限	13:15～14:05(50分間)	英 語(リスニングテストを含む。)	100

(2) 問題の程度

問題の程度は、中学校卒業程度とする。

(3) 実技検査

詳細については、志願先高等学校長が定める。

5 追面接

詳細については、志願先高等学校長が定める。

6 受検者数等の報告

追検査・追面接の報告については、次のとおりとする。ただし、追検査・追面接を実施する高等学校のみ報告する。

(1) 各高等学校長は、追検査受検者の見込数を3月10日（火）正午までに委員会に報告する。さらにその確定数を文書で3月11日（水）正午までに委員会に報告する。

(2) 各高等学校長は、追面接受検者の見込数を3月11日（水）午後1時30分までに委員会に報告する。

(3) 各高等学校長は、追検査及び追面接受検者数を電話で3月12日（木）正午までに、文書で3月18日（水）までに委員会に報告する。

第7 定時制の課程における成人特例措置

1 対象者及び内容

定時制の課程において、平成21年4月1日現在、満20歳以上の志願者で、成人特例措置を希望する者については、学力検査を行わず作文でこれに代えるものとする。

2 申請手続

この特例措置の適用を受けようとする者は、出願の際、併せて定時制課程特例措置適用申請書（様式第21号）を提出するものとする。

3 実施会場

志願先高等学校（徳島科学技術高等学校については徳島中央高等学校で実施する。）

4 検査日程その他詳細については、志願先高等学校長が定める。

5 この特例措置による合格者数は、募集定員の10%以内とする。

第8 選抜の方法

1 選抜の方法

(1) 各高等学校長は、調査書と入学学力検査の成績に基づき、面接等の結果も資料とし、高等学校教育を受けるに足る資質と能力を総合的に判定して選抜する。

なお、自己申告書や副申書が提出された場合は、これを選抜の資料に加える。

(2) 城ノ内高等学校、川島高等学校を除く普通科において、通学区域外の取扱いを受ける者の選抜は、通学区域内の志願者と同等に取り扱うものとする。

なお、通学区域外志願者の合格者数は前期選抜の入学者数と合わせ、第1学区は総募集定員の10%以内、第2学区は8%以内とし、第3学区は各高等学校ごとに募集定員の8%以内とする。ただし、前期選抜における出願要件ウによる通学区域外からの入学者については、この制限を適用しない。

2 合格者選抜の手順

(1) 第1次選考

調査書の「各教科の学習の記録」の評定が、上位から募集人員の80%以内にいる者で、かつ、学力検査の得点が上位から募集人員の80%以内にいる者について、面接等の結果も資料とし、総合的に選考する。

(2) 第2次選考

第1次選考の対象者以外の者全員について、「各教科の学習の記録」の評定と学力検査の得点を同等にみて、面接等の結果も資料とし、総合的に選考する。「各教科の学習の記録」の評定と学力検査の得点を同等にみることにについては、受検者全員についての両者の相関表（様式第24号，別記2，29ページ）を用いて、その適正をはかるものとする。

なお、評定の記載がない者については、記載されていないことのみで理由で選考の対象から外すことのないよう配慮する。

(3) 第1次選考については、次のア、イの項、第2次選考については、次のア～カの諸項に留意して、公正かつ妥当な判定を行うものとする。

ア 行動が著しく優れた者又は不良の者

イ 面接の結果が特に良好な者又は不良の者

ウ 「総合的な学習の時間の記録」が著しく優れた者

エ 「特別活動の記録」が著しく優れた者

オ 観点別学習状況が著しく優れた者

カ 芸術・文化，体育・スポーツ，ボランティア，人権などの諸活動において顕著な実績のある者

(4) 芸術科の音楽，美術の選抜に当たっては、志願した音楽，美術の調査書の成績を重視する。また、芸術科において、実技検査を行う場合には、その成績も併せて選考する。

(5) 第1志望以外の志願者の取扱い

選抜に当たっては、第1志望を優先し、第1志望者の中から合格者を決定する。合格者が定員に満たない場合は、第1志望以外の志願者の中から選抜を行い合格者を決定する。

(6) 各高等学校長は、相関表の写しを様式第24号により、3月24日（火）までに委員会に提出する。

第9 選抜結果の通知等

1 各高等学校長は、3月17日（火），受検者に選抜の結果を様式第25-1～4号により配達記録郵便によって通知するとともに、志願者名簿により受検者の出身中学校長に通知する。

2 各高等学校長は、課程別，学科別合格者数及び第2次募集を行うべき課程・学科の人員予定数を3月17日（火）午前10時までに委員会に報告する。

第10 その他

1 後期選抜の合格者は、第2次募集に出願することはできない。

2 後期選抜の不合格者は、改めて第2次募集に出願することができる。

3 出願を取り消す者が出た場合は、中学校長等は、速やかに出願取消届（様式第19号）を当該志願者の志願先高等学校長に提出しなければならない。

4 入学を辞退する者が出た場合は、中学校長等は、速やかに入学辞退届（様式第20号）を当該志願者の志願先高等学校長に提出しなければならない。

後期選抜における学力検査・面接実施上の留意点

1 学力検査

(1) 受検者に対する受検上の注意

各高等学校長は、学力検査当日受検者に対し、次の注意を与えるものとする。

- ア 受検票及び筆記用具を携行すること。筆記用具は、公式又は法則等を記載したもの及び計算機付きのものであってはならない。なお、計算機、電訳機付き時計及び携帯電話などの移動通信機器は認めない。
- イ 検査開始前、各高等学校長の指示する時刻に検査場校に集合して検査員から注意を受けること。
- ウ 検査終了まで退場してはならない。
- エ 検査開始後15分以上遅刻した者は、その時限の検査は受けられない。
- オ 答案用紙には、受検番号を算用数字で忘れず記入すること。氏名は書かない。
- カ 印刷不鮮明で質問があれば、挙手して検査員の指示に従うこと。問題の内容に立ち入った質問は許されない。
- キ 受検中身体に異常をきたしたような場合は、挙手してその旨を告げ、検査員の指示に従うこと。
- ク 受検中不正行為のあった者は、直ちに退場を命じられ、その後の検査は受けられない。

(2) 学力検査の実施に当たっての高等学校長の措置

各高等学校長は、次の事項について適切な措置を講ずるものとする。

- ア 検査を実施する教室から、解答に暗示を与えるおそれのあるような掲示物及び標本等を除去すること。
- イ 時報は、検査開始時刻、開始後15分、終了前5分及び終了時刻とする。検査時間中は、これ以外の時刻報知は行ってはならない。
- ウ 印刷不鮮明等による質問に対しては、正確な問題を提示すること。問題の内容や解答の仕方等に関する質問に答えてはならない。
- エ 検査場によって不公平を生じるような特別な注意を与えたり、特別な行動をしてはならない。
- オ 検査問題及び正答表は、その教科の検査終了後発表する。
- カ 委員会は、このほか検査実施上必要な事項が生じた場合には、各高等学校長に通知する。

(3) 委員会は、このほか、検査上必要な事項が生じた場合には、市町村教育委員会を通じて中学校長に通知するとともに、各高等学校長に通知する。

2 面 接

(1) 面接日程等

面接日程等は、志願先高等学校長が出身中学校長を通じ志願者に通知するものとする。

(2) 面接方法

ア 面接は個人面接，集団面接のいずれかを実施する。（別表 3，38ページ）

イ 面接担当者は各班 3 名以上とし，各高等学校長が定める。

ウ 各高等学校長は，面接の公平・公正を期するため，校長を委員長とした面接実施委員会を設け，面接に関する事項を取り扱う。

(3) 質問事項

次のア～エの各事項に関することのうちから質問する。

ア 中学校生活に関すること

イ 志望の動機

ウ 高校生活への期待

エ 将来の希望

Ⅲ 第2次募集

[日 程]

事 項	日 時
願 書 受 付 期 間	平成21年3月23日（月）から3月24日（火）まで <u>受付時間は午前9時から午後4時30分までとする。</u>
検 査 日	平成21年3月26日（木）
選抜結果の通知日	平成21年3月27日（金）

第1 募 集

1 実 施 校

前期選抜又は連携型中高一貫教育に係る入学者選抜、後期選抜の結果、合格者が募集定員に満たない学科

2 募 集 人 員

3月19日（木）に公表する。

3 出 願 資 格

出願資格者は、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ、前期選抜又は連携型中高一貫教育に係る入学者選抜、後期選抜においていずれの高等学校にも合格していない者とする。

- (1) 平成21年3月に中学校を卒業見込又は修了見込の者
- (2) 中学校卒業者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

第2 出 願

1 出願の制限

- (1) 志願者は、第2次募集を実施する高等学校のうち、1校に限り出願することができる。

なお、志望する大学科に第2次募集を実施する小学科・類が2以上あるときは、その小学科・類名を志望順に記して出願することができる。

また、志願先高等学校に第2次募集を実施する大学科が2以上あるときは、その大学科・小学科・類名を志望順に記して出願することができる。

- (2) 県外に居住する者で、一家転住等の特別な事情があつて、本県の全日制の課程の高等学校を志願する場合は、別記4（31ページ）により、手続を行わなければならない。ただし、定時制の課程への志願者は、許可を要しない。
- (3) 全日制の課程と定時制の課程の併願はできない。
- (4) 出願後、志望校又は志望学科を変更することはできない。

2 受付期間

入学願書等の受付期間は、3月23日（月）から3月24日（火）までとする。なお、受付時間は午前9時から午後4時30分までとする。

郵送により提出する場合は、書留速達・親展で、3月24日（火）午後4時30分までに必着のこと。ただし、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

3 出願の手続等

(1) 志願者による手続

ア 志願者は、次の書類等を、中学校長を経由して志願先高等学校長に提出する。

(ア) 入学願書（様式第1-2号）

(イ) 受検票（様式第2-2号）

(ウ) 入学考査料（全日制の課程は2,200円、定時制の課程は950円）

入学願書の所定の欄に、徳島県収入証紙をはること。ただし、市立高等学校の志願者は現金で中学校長に提出する。

(エ) 選抜結果通知用封筒（様式第3号）

封筒の所定の位置に290円切手（料金改定があった場合は、改定後の料金の切手）をはること。

イ 志願者のうち特別な事情により欠席が多い者は、自己申告書（様式第12号）を提出することができる。なお、自己申告書は、本人及び保護者が記入し、封をした上で中学校長に提出する。

ウ 特別な理由により、公立高等学校に在籍のまま志願する者は、在籍する高等学校長の承認を受け、上記アに示された書類のほか、志願承認書（様式第15号）を中学校長に提出する。

エ 「第1 募集 3 出願資格(3)」による者は、市町村教育委員会から用紙等を受け取り、上記アに示された書類のほか、高等学校への入学資格の証明書及び最終学校又は認定試験の成績証明書を添えて、直接、志願先高等学校長に提出する。

(2) 中学校長による手続

中学校長は、志願者から提出された上記(1)ア～ウの書類等のほか、次の書類を志願先高等学校長に提出する。

ア 調査書（様式第4号）

イ 志願者名簿（様式第5-2号）

ウ 教科評定分布表（様式第6号、これまでに当該受検校に提出していない中学校に限る。）

エ 副申書（様式第13号、調査書の評定の記載ができない志願者について中学校長が作成したもの）

オ 特別措置申請書

作文、面接などにおいて特別措置を必要とする志願者は、特別措置申請書（様式第14-1号）を提出する。

(3) 高等学校長による措置

ア 各高等学校長は、所定の期間内に、午前9時から午後4時30分までの間、出願書類を受け付ける。天災地変などやむを得ない場合のほかは、期間外及び時間外の受付は一切認めない。また、郵送によるものも、受付最終日の午後4時30分までに到着しなければならないが、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

イ 各高等学校長は、受付に当たっては、志願者受付・受検者名簿（様式第23-2号）を作成する。

また、提出された受検票に受検番号を記入し、契印及び写真への割印を施した上、中学校長を経

由して志願者に交付する。

なお、「第1 募集 3 出願資格(3)」による者には、直接、受検票を交付する。

ウ 各高等学校長は、入学願書受付締切後、速やかに課程別、学科別志願者数を委員会に報告する。

公立高等学校に在籍のままで志願する者から志願承認書を受け付けた高等学校長は、3月27日（金）までに志願承認書の写しを添えて、在籍のままで志願した者を委員会に報告する。

第3 検 査

1 検査の内容

志願者全員に対して、作文及び面接を実施する。また、学校・学科の特色に応じ、学校指定教科の検査、実技検査を実施することができるものとし、その内容は実施校ごとに定める。（別表3，38ページ）

なお、問題の程度は、中学校卒業程度とする。

2 検査の実施

(1) 検査期日

3月26日（木）

なお、高等学校が実施する検査時間割の詳細は、実施校ごとに定める。

(2) 実施会場

志願先高等学校の本校（徳島科学技術高等学校については全日制課程は徳島東工業高等学校，定時制課程は徳島中央高等学校で実施する。）及びその学校長の指定する分校

(3) 受検者数の報告

各高等学校長は、受検当日の受検者数を速やかに委員会に報告する。

第4 選抜の方法

各高等学校長は、調査書、各高等学校において実施した検査の結果を資料として、高等学校教育を受けるに足る資質と能力を総合的に判定して選抜する。

なお、自己申告書や副申書が提出された場合は、これを選抜の資料に加える。

第5 選抜結果の通知等

1 各高等学校長は、3月27日（金）、受検者に選抜の結果を様式第25-1～4号により配達記録郵便によって通知するとともに、志願者名簿により受検者の出身中学校長に通知する。

2 各高等学校長は、課程別、学科別合格者数を3月26日（木）午後5時までに委員会に報告する。さらに、第2次募集の状況を、志願者受付・受検者名簿により3月27日（金）までに委員会に報告する。

IV 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

[日 程]

事 項	日 時
願 書 受 付 期 間	平成21年1月26日(月)から1月28日(水)まで 受付時間は午前9時から午後4時30分までとし、最終日は正午までとする。
作 文 及 び 面 接	平成21年2月5日(木)
選 抜 結 果 の 通 知 日	平成21年2月14日(土)

第1 募 集

1 実 施 校

連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（以下「連携型選抜」という。）は、連携型中学校から該当する連携型高等学校を志願する場合に実施する。

なお、連携型中学校及び連携型高等学校は次の表のとおりである。

連携型高等学校	連 携 型 中 学 校
那賀高等学校	鷺敷中学校、相生中学校、上那賀中学校、木頭中学校
阿波西高等学校	市場中学校、阿波中学校

2 募 集 人 員

募集定員の範囲内とし、別に定める。

3 出 願 資 格

連携型選抜に出願できる者は、次の(1)から(4)をすべて満たし、連携型中学校長（以下「中学校長」という。）が認めた者とする。

- (1) 平成21年3月に連携型中学校を卒業見込の者
- (2) 当該学校・学科を志願する動機及び理由が明白かつ適切であること。
- (3) 当該学校・学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有すること。
- (4) 中学校生活全般にわたり積極的な取り組みを行い、入学後も学校生活を意欲的におくる意志のあること。

第2 出 願

1 出 願 の 制 限

- (1) 志願者は、1校1学科に限り出願できる。
- (2) 志願者は、前期選抜と併願することはできない。

2 受付期間

入学願書等の受付期間は、1月26日（月）から1月28日（水）までとする。なお、受付時間は午前9時から午後4時30分までとし、最終日は正午までとする。

郵送により提出する場合は、書留速達・親展で、1月28日（水）正午までに必着のこと。ただし、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

3 出願の手続等

(1) 志願者による手続

志願者は、次の書類等を、中学校長を経由して志願先高等学校長に提出する。

ア 入学願書（様式第1-1号）

イ 受検票（様式第2-1号）

ウ 入学考査料（2,200円）

入学願書の所定の欄に、徳島県収入証紙をはること。

エ 選抜結果通知用封筒（様式第3号）

封筒の所定の位置に290円切手（料金改定があった場合は、改定後の料金の切手）をはること。

オ 志望理由書（様式第10-2号（連携用））

(2) 中学校長による手続

中学校長は、志願者から提出された上記(1)の書類等のほか、次の書類を志願先高等学校長に提出する。

ア 志願者名簿（様式第5-1号）

イ 連携型中高一貫教育に係る副申書（様式第22号）

ウ 特別措置申請書（様式第14-1号，作文，面接において特別な配慮を必要とする志願者について中学校長が作成したもの）

(3) 連携型高等学校長（以下「高等学校長」という。）による措置

ア 高等学校長は、所定の期間内に、午前9時から午後4時30分（最終日は正午）までの間、出願書類を受け付ける。天災地変などやむを得ない場合のほかは、期間外及び時間外の受付は一切認めない。また、郵送によるものも、受付最終日の正午までに到着しなければならないが、受付最終日の前日までの消印があるものは受け付ける。

イ 高等学校長は、受付に当たっては、志願者受付・受検者名簿（様式第23-1号）を作成する。

また、提出された受検票に受検番号を記入し、契印及び写真への割印を施した上、中学校長を経由して志願者に交付する。

ウ 高等学校長は、連携型選抜願書受付締切後、速やかに連携型選抜志願者数を委員会に報告し、さらに2月3日（火）までに、志願者数報告書（様式第26号）により委員会に報告する。

第3 作文及び面接

1 対象者

志願者全員

2 検査期日

2月5日（木）

3 実施会場

志願先高等学校

4 作文及び面接の実施方法等

作文及び面接は、志願先高等学校長の定めるところにより実施する。

なお、実施方法等については志願先高等学校長が中学校長に通知する。

5 特別措置を必要とする志願者への対応

高等学校長は、作文、面接などにおいて、特別措置を必要とする志願者について、中学校長と十分に連絡をとり、適切な措置を決め、その結果を2月3日（火）までに中学校長及び委員会に報告する。

6 受検者数の報告

高等学校長は、受検日当日の受検者数を速やかに委員会に報告する。

第4 選抜の方法

高等学校長は、志望理由書の審査、作文及び面接の結果を資料として、総合的に判定して選抜する。

第5 選抜結果の通知等

- 1 高等学校長は、2月14日（土）、受検者に選抜の結果を様式第25-1,2号により配達記録郵便によって通知するとともに、連携型選抜志願者名簿により受検者の出身中学校長に通知する。
- 2 高等学校長は、速やかに連携型選抜合格者数を委員会に報告し、さらに、2月16日（月）までに、合格者数報告書（様式第27号）により委員会に報告する。
- 3 高等学校長は、志願者受付・受検者名簿の写しを3月24日（火）までに委員会に提出する。その際、受検者数集計表（様式第30-1号）も併せて提出する。

第6 その他

- 1 連携型選抜の合格者は、後期選抜及び第2次募集に出願することはできない。
- 2 連携型選抜の不合格者は、連携型選抜で受検した高等学校も含めて、改めて後期選抜に出願することができる。
- 3 連携型中学校を除く中学校からの志願者は、連携型選抜によらない入学者選抜で、連携型高等学校を受検することができる。
- 4 出願を取り消す者が出た場合は、中学校長等は、速やかに出願取消届（様式第19号）を当該志願者の志願先高等学校長に提出しなければならない。
- 5 入学を辞退する者が出た場合は、中学校長等は、速やかに入学辞退届（様式第20号）を当該志願者の志願先高等学校長に提出しなければならない。

V その他

- 1 海外帰国生徒等の選抜については、委員会と協議して、弾力的に取り扱うことができる。
- 2 入学者選抜に係る個人情報の開示は、別記6（34ページ）によるものとする。
- 3 この要項に定めるもののほか、入学者選抜に必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、徳島県教育委員会教育長が定める。

《通信制の課程》

[日 程]

事 項	日 時
願 書 請 求 期 間	平成21年2月2日（月）から3月19日（木）まで 請求受付時間は午前9時から午後4時30分までとする。 ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。
願 書 受 付 期 間	[転入生、編入生] 平成21年2月24日（火）から2月26日（木）まで [新入生 一次] 平成21年3月9日（月）、3月11日（水）、3月12日（木） [新入生 二次] 平成21年3月16日（月）、3月18日（水）、3月19日（木） 受付時間は午前9時から午後4時30分までとする。
審 査 日	[転入生、編入生] 平成21年3月8日（日） [新入生 一次] 平成21年3月15日（日） [新入生 二次] 平成21年3月25日（水）

第1 募 集

1 実 施 校

徳島中央高等学校（以下「実施校」という。）

〒770-0006 徳島市北矢三町1丁目3番8号 電話(088)631-1332)

2 募集する学科と出願資格

(1) 普通科

出願資格者は、次のアからウのいずれかに該当する者とする。

ア 平成21年3月に中学校を卒業見込又は修了見込の者

イ 中学校卒業生

ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

ただし、実施校の校長は、上記アからウに該当しない者で、相当の年齢に達し、かつ、相当の学力があると認められた者は、特科生として入学させることができる。

(2) 衛生看護科

出願資格者は、徳島県立看護学院准看護学科に入学した者で、通信教育を希望する者とする。

第2 出 願

1 入学願書等の請求及び請求期間

志願者は、入学願書等を実施校に請求する。

請求期間は、2月2日（月）から3月19日（木）までとする。なお、請求受付時間は午前9時から午後4時30分までとする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。

2 受付期間

入学願書等の受付期間は、次のとおりとする。

転入生及び編入生については、平成21年2月24日（火）から2月26日（木）まで

新入生の一次受付期間は、平成21年3月9日（月）、3月11日（水）、3月12日（木）

新入生の二次受付期間は、平成21年3月16日（月）、3月18日（水）、3月19日（木）

なお、受付時間は午前9時から午後4時30分までとする。

郵送により提出する場合は、書留速達・親展で、受付最終日の午後4時30分までに必着とする。ただし、受付最終日の前日までの消印のあるものは受け付ける。

3 出願の手続

志願者は、次の書類等を、実施校の校長に提出する。

(1) 普通科

ア 入学願書（様式第32号）

イ 出身中学校又は最終出身学校の卒業証明書若しくは卒業見込証明書又は修了証明書若しくは修了見込証明書

ウ 志願者の写真3枚（縦4cm×横3cm、正面上半身脱帽、出願前6か月以内に撮影、カラー・白黒いずれも可、裏に氏名を明記）

エ 住民票の写し

ただし、特科生については、上記イは不要とし、志願者の写真の提出枚数は2枚とする。

(2) 衛生看護科

徳島県立看護学院准看護学科合格後、「(1) 普通科」と同じ書類を提出する。

第3 選抜の方法

実施校の校長は、書類審査、作文及び面接を実施して入学を許可する。ただし、特科生については書類審査のみとする。

第4 その他

- 1 新入生については、徳島県公立高等学校の全日制課程又は定時制課程との併願を認める。
- 2 詳細については、実施校へ問い合わせること。

別 記 ・ 別 表

調査書及び教科評定分布表の作成

調査書及び教科評定分布表の作成に当たっては、各中学校において、調査書作成委員会を組織し、次に示す調査書、教科評定分布表作成上の注意に従って厳正に作成しなければならない。

調査書作成上の注意

- 1 保護者の欄は、指導要録に基づいて記入する。
- 2 出欠の記録の欄の在学者の第3学年分については、平成20年12月31日現在とする。なお、欠席日数の著しく多い者については、備考にその理由を記入する。
- 3 「行動の記録」
 - (1) 行動の状況の欄には、指導要録の記入方法に準じて第3学年のものを記入する。
 - (2) 所見の欄には、趣味、特技等を必要に応じて記入する。
- 4 「観点別学習状況」
 - (1) 評価の欄には、指導要録の評価方法によって第3学年のものを記入する。
 - (2) 記入に当たっては、「A」、「C」の評価についてそれぞれA、Cと記入し、「B」の評価については空欄とし、評価の記載ができない場合は、斜線を引く。なお、選択教科の欄については、すべての教科名及び観点を記入すること。
- 5 「各教科の学習の記録」
 - (1) 各学年の評定は、指導要録の評価方法に準じて行い、5段階評価の評定を記入する。
 - (2) 過年度卒業者については、すべて指導要録に基づいて記入し、各学年の評定を5段階評定で記入する。
 - (3) 評定の記載ができない教科の評定欄には斜線を引く。
 - (4) ※印の欄は、記入しない。
 - (5) 評定の記載がされていない者が高等学校を志願する場合は、中学校長は副申書（様式第13号）を提出しなければならない。
- 6 「総合的な学習の時間の記録」
 - (1) 第3学年の活動を中心に指導要録の記入方法に準じて記入する。
 - (2) 学習活動の欄には、主要な学習活動を記入する。
 - (3) 観点の欄には、主要な観点を1又は2記入する。
 - (4) 評価の欄には、(3)で記入した観点についての評価を記入する。
- 7 「特別活動の記録」
 - (1) 特別活動を「学級活動・生徒会活動・学校行事」とし、各内容・学年の欄には、指導要録の記入方法に準じて記入し、十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。
 - (2) 事実及び所見の欄は、特別活動及び部活動における生徒の活動状況について、必要に応じて記入する。
- 8 「特記事項の欄」

芸術・文化、体育・スポーツ、ボランティア、人権などの諸活動において顕著な実績があれば、必要に応じて記入する。

教科評定分布表作成上の注意

- 1 分布表は、第3学年全員の評定について作成し、提出するものとする。ただし、県外からの志願者及び過年度卒業者については、分布表の提出は不要である。
- 2 高等学校及び委員会へ提出する分布表は、すべて同一でなければならない。
- 3 分布表の用紙は、様式第6号によって各中学校において作成したものをを用い、その大きさはA4判とする。

相 関 表 の 作 成

後期選抜において、各高等学校長は調査書の「各教科の学習の記録」の評定から算出した調査書の評定値合計と学力検査の得点合計の相関表を用いて合格者の選考に当たるものとする。

なお、相関表の作成に当たっては、次に示す後期選抜における調査書の評定値合計の算出方法及び相関表作成上の注意に従って厳正に作成しなければならない。

後期選抜における調査書の評定値合計の算出方法（高等学校）

後期選抜における調査書の評定値合計は、次により算出する。

- 1 音楽，美術，保健体育及び技術・家庭の4教科については，第1学年から第3学年までの評定値合計を2倍する。
- 2 国語，社会，数学，理科及び英語については，第1学年から第3学年までの評定値合計とする。
- 3 調査書の評定値合計は，上記1及び2を合計して195点満点とする。

相 関 表 作 成 上 の 注 意（高等学校）

- 1 学科ごとの受検者（調査書の評定の記載ができていない者と定時制課程特例措置適用申請書提出者は除く。）を調査書の評定値合計並びに学力検査の得点合計により10段階に区分する。この場合，各段階の人数は，次の表に示す配分率によるものとし，各段階の表示は，評定値合計又は得点合計の高いものから順に，10，9，8，7，6，5，4，3，2，1とする。

10段階法による人数配分表

段 階	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
配 分 率 %	2	5	9	15	19	19	15	9	5	2

配分人数の算定に当たっては，原則として，各段階ごとに小数第1位を四捨五入し，その結果の総数と，受検者数との間に差を生じる場合は，5，6の段階で調整するものとする。

- 2 調査書の評定値合計の段階を横軸に，学力検査の得点合計の段階を縦軸にとって，様式第24号により相関表を作成する。

所属学区を変更する者の手続

県内の中学校在学者又は卒業者のうち、特別な理由により学区内志願者扱いを希望する者は、次により手続を行わなければならない。

1 手続期間・提出先

入学願書等の受付期間に、中学校長を経由して志願先高等学校長に提出する。

2 提出書類

次の書類を中学校長を経由して提出すること。

- (1) 所属学区変更許可願（様式第7号）
- (2) 住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載されたもの）の写し
- (3) 特別な理由を証明する書類（区域外就学承認書、住居に関する証明書、一家転住を証明する書類等）

3 高等学校長による措置

高等学校長は、「所属学区変更許可願」について公正で適正な審査を行い、その理由がやむを得ないものであると認めた場合は、この志願者を学区内志願者として扱うものとする。

審査の結果、不当と認められる志願者について、高等学校長は中学校長を通じ学区内外の変更手続をとらせる。なお、前期選抜では2月3日（火）までに、後期選抜では3月9日（月）までにこの措置をとるものとする。また、学区内外の変更手続をとらせた場合には、委員会へ速やかに報告する。

4 所属学区変更許可願を必要とする場合

内 容	提 出 書 類
県内における転居の場合（転勤や新築等のために4月からは学区内に転居することが確実となる場合） 1 保護者の転勤等による転居の場合 2 保護者が自宅を新築又は購入して転居する場合	1 保護者の転勤等による場合 (1) 所属学区変更許可願 (2) 住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載されたもの）の写し (3) 保護者の住所の移転を証明する書類 ア 社宅に転居・・・社宅入居（予定）証明書 イ 借家に転居・・・家屋賃貸契約書の写し ウ 実家に転居・・・家屋登記簿の写し（登記者と保護者が異なる場合は、その間柄を証明する書類も必要とする。） (4) 転勤辞令の写し又は転勤内示証明書等（転勤以外の理由で転居する場合は必要としない。） 2 自宅を新築又は購入した場合 (1) 所属学区変更許可願 (2) 住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載されたもの）の写し (3) 保護者の住所の移転を証明する書類 建築確認通知書の写し又は家屋登記簿の写し等
保護者の住所は学区外にあり、志願者の住所は学区内にある場合	(1) 所属学区変更許可願 (2) 住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者及び志願者が学区内で同居する祖父母等が記載されたもの）の写し
保護者・志願者の住所は学区内にあるが、学区外の中学校へ通学している場合	(1) 所属学区変更許可願 (2) 住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載されたもの）の写し (3) 区域外就学承認書の写し
【備 考】 上記は、一般的な事例であり、判断が困難な場合は、下記まで問い合わせてください。 徳島県教育委員会 学校政策課 企画調整担当（TEL 088-621-3120）	

5 その他

県外からの志願者は、所属学区変更許可願を必要としない。

県外から志願する者の手続

県外から公立高等学校の全日制の課程を志願する者は、県外志願特例措置願（様式第8号）を、県立高等学校を志願する場合は徳島県教育委員会へ、徳島市立高等学校を志願する場合は徳島市教育委員会へ、鳴門市立鳴門工業高等学校を志願する場合は鳴門市教育委員会にそれぞれ提出し、承認を受けなければならない。その手続等については、次によるものとする。

1 手続方法

(1) 手続期間

ア 前期選抜 平成20年12月8日（月）～平成21年1月7日（水）

イ 後期選抜 平成21年1月23日（金）～平成21年2月6日（金）

ウ 第2次募集 平成21年2月23日（月）～平成21年3月9日（月）

受付時間は午前9時から午後5時までとする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。

郵送により提出する場合は、書留速達で、受付最終日の午後5時までに必着とする。ただし、受付最終日の前日までの消印のあるものは受け付ける。

(2) 提出書類

ア 県外志願特例措置願

イ 返信用封筒（定形封筒〔長形3号23.5cm×12cm〕に宛先を記入し、430円切手〔簡易書留とする。料金改定があった場合は、改定後の料金の切手〕を貼付する。）

ウ 県立高等学校の場合、その他添付書類については、次の(3)エのとおりである。（市立高等学校の場合は、それぞれの市教育委員会へ問い合わせること。）

(3) 県外志願特例措置願の記入上の注意等（徳島県教育委員会の定める様式第8号の場合）

ア 「入学希望学校及び学科」欄の「第1希望」、「第2希望」欄について

志願者は、2校以上の高等学校に願書を提出することはできないが、志望の変更等に備えて、「第2希望」欄に「第1希望」欄と異なる学校・学科を記入することは差し支えない。

イ 「理由」欄にはできるだけ具体的にその理由を記入すること。

ウ 連絡先の電話番号を欄の下段に明記すること。（市外局番も必ず記入すること。）

エ 県外志願特例措置願の添付書類

	特例事情の内容	県外志願特例措置願の添付書類
1	保護者と徳島県内に転住を予定している場合	(1) 父及び母（又は後見人）と志願者が記載された住民票の写し (2) 転勤の内示等の写し (3) (1)又は(2)の書類で、徳島県内の住所が確定できない場合は、中学校長の副申書等
2	四国他県の中学校からの志願者で、徳島県外の自宅から通学を予定している場合	父及び母（又は後見人）と志願者が記載された住民票の写し
3	前記1・2以外で特別の事情がある <u>と教育長が認めた場合</u>	前記1・2の必要書類の例に準じて、客観的に事情を証明する書類

(4) 提出先・問い合わせ先

ア 徳島県立高等学校の場合

〒770-8570
徳島市万代町1丁目1番地
徳島県教育委員会 学校政策課 企画調整担当 TEL 088-621-3120

イ 徳島市立高等学校の場合

〒770-8571
徳島市幸町2丁目5番地
徳島市教育委員会 学校教育課 TEL 088-621-5411

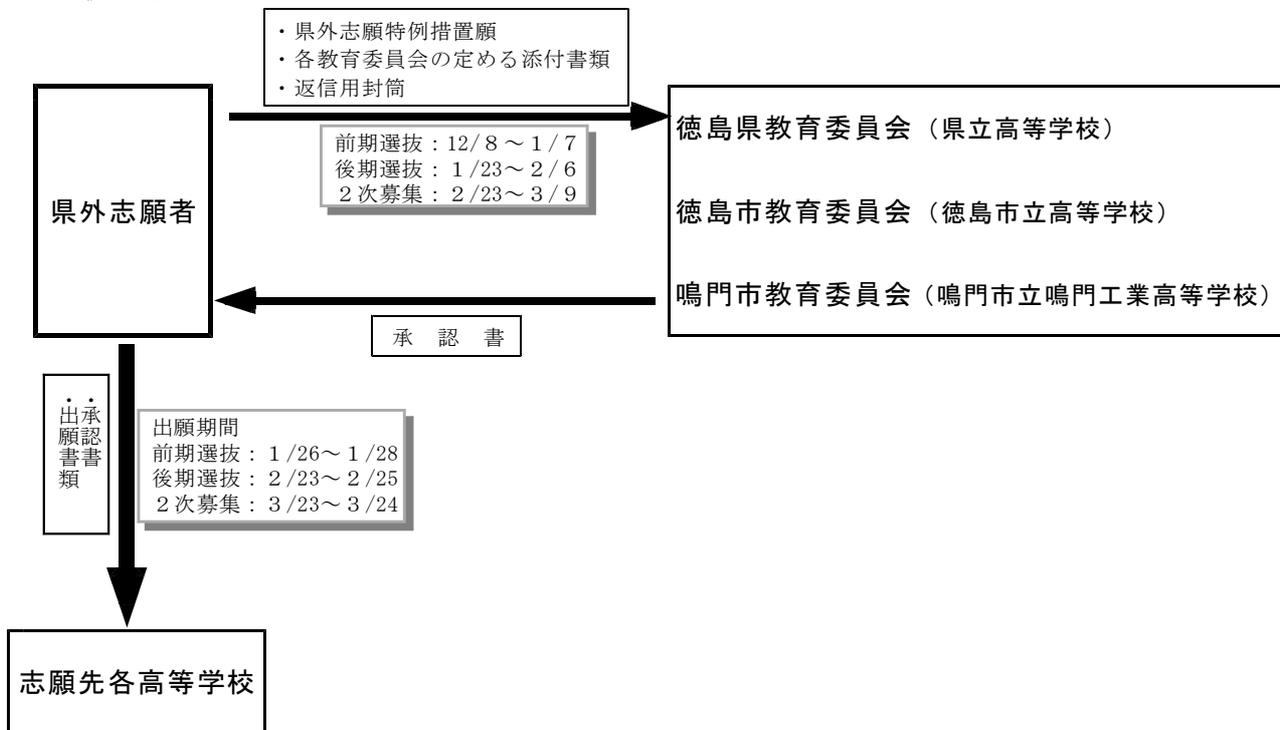
ウ 鳴門市立鳴門工業高等学校の場合

〒772-0011
鳴門市撫養町大桑島字辻岩浜8-2
鳴門市教育委員会 学校教育課 TEL 088-686-8802

2 各高等学校への出願について

承認された県外志願者は、県教育委員会又は市教育委員会からの承認書を他の出願書類に添付して志願先高等学校に提出しなければならない。ただし、後期選抜及び第2次募集については、前期選抜又は後期選抜で当該教育委員会から既に承認を受けている志願者は、県外志願特例措置願の提出は不要である。その場合、前期選抜又は後期選抜志願校より、承認書の写しの交付を受け、承認書の写しを他の出願書類に添付して志願先高等学校に提出するものとする。

3 手続の流れ



後期選抜実技検査実施校及び検査内容

1 実技検査実施校

学 校 名	学 科 名
徳島県立名西高等学校	芸術科（音楽），芸術科（美術），芸術科（書道）

2 名西高等学校芸術科後期選抜実技検査内容等

- (1) 検査日時 平成21年3月11日（水）午前9時から正午まで
 (2) 検査場 徳島県立名西高等学校
 (3) 内 容 中学校学習指導要領に示されている音楽，美術，国語（書写）の内容のうち，次の事項について検査を行う。

ア 芸術科（音楽）を志望する者

〔共通課題〕

- (ア) 聴 音 …………… 平易な旋律を聴いて書く。(30分)
 (イ) 視 唱 …………… 平易な旋律を初見視唱する。
 (ウ) 視 奏 …………… 平易な音階をピアノで弾く。

〔選択課題〕 (ア)，(イ)，(ウ)，(エ)のうちから一つを選択する。

- (ア) 声 楽 …………… 任意の独唱曲1曲を検査担当員の伴奏により歌う。
 (イ) ピアノ …………… 任意の独奏曲1曲を演奏する。
 (ウ) 弦楽器・管楽器等 …… 任意の独奏曲1曲を演奏する。ただし，電子楽器は除く。
 (エ) 和楽器 …………… 任意の独奏曲1曲を演奏する。
 ただし，楽器は箏・三味線（長唄三味線）とする。

イ 芸術科（美術）を志望する者

- (ア) 着彩画 …………… 水彩画を描く。(180分)

ウ 芸術科（書道）を志望する者

- (ア) 楷書（四字） …… 漢字（四字）を楷書で書く。(50分)
 (イ) 行書と平仮名 …… 行書と平仮名合わせて五字を書く。漢字は行書で書く。(50分)

(4) 持参物

- ア 受検票及び筆記用具（鉛筆，消しゴム，鉛筆削り）を持参すること。
 イ 芸術科（音楽）を志望する者で，選択課題の弦楽器・管楽器等あるいは和楽器を選択する者については，各自が楽器を持参すること。ただし，箏は検査場で準備するので持参しなくてよい。
 ウ 芸術科（美術）を志望する者は，用具・用材を検査場で準備するので持参しなくてよい。
 エ 芸術科（書道）を志望する者は，毛筆書写の用具・用材を持参すること。ただし，下敷きと半紙は準備するので持参しなくてよい。

(5) 注意事項

- ア 芸術科を第2志望としている者に対して，この実技検査を実施することがある。
 イ 実技検査当日，急病，交通事故，天災，その他やむを得ない理由で欠席して追検査を受けようとする者は，3月11日（水）中に追検査願を徳島県立名西高等学校長に提出し，3月12日（木）に行われる追検査を受検することができる。
 ウ 実技検査当日の日程等の詳細については，徳島県立名西高等学校長より中学校長を通じて志願者に通知する。

(6) その他

- 第2次募集において，名西高等学校芸術科を志願する者は，3月26日（木）に実施する実技検査を受けなければならない。なお，内容については，後期選抜実技検査に準じる。

入学者選抜に係る個人情報の開示

受検者は選抜の結果について、徳島県個人情報保護条例（平成14年徳島県条例第43号）第26条第1項の規定に基づき、口頭による開示請求を行うことができる。

1 受付期間・受付時間

(1) 前期選抜

2月16日（月）から3月16日（月）までの1月間とする。ただし、土曜日、日曜日、祝日、3月10日（火）及び3月11日（水）を除く、平日の午前9時から午後5時までとする。

(2) 後期選抜

3月18日（水）から4月17日（金）までの1月間とする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日を除く、平日の午前9時から午後5時までとする。

2 開示の内容

(1) 前期選抜における受検者本人の「学校指定教科の検査の得点、作文の得点又は評定」

(2) 後期選抜における受検者本人の「学力検査の教科別得点」

3 受付場所等

開示の請求は、受検者が本人であることを確認できる書類（受検票等）を持参の上、受検した県立高等学校で行うものとする。

4 その他

市立高等学校の入学者選抜に係る情報の開示については、当該市の規定による。

平成 2 1 年度公立高等学校入学者選抜に係る 競技力向上スポーツ指定校及び指定競技一覧

- 1 競技力向上スポーツ指定校事業において、指定された学校及びその指定競技です。
- 2 各指定校は、指定競技について、前期選抜の出願要件ウで募集します。

指 定 校	男子指定競技	女子指定競技
城 東 高 等 学 校		バドミントン
城 南 高 等 学 校	テニス	バレーボール
城 北 高 等 学 校		バスケットボール
城 ノ 内 高 等 学 校	陸上競技	
徳 島 市 立 高 等 学 校	サッカー	
徳 島 科 学 技 術 高 等 学 校	ソフトテニス, ソフトボール	
徳 島 商 業 高 等 学 校	サッカー	卓球
小 松 島 西 高 等 学 校		陸上競技 (駅伝)
富 岡 東 高 等 学 校		バスケットボール, 剣道
阿 南 工 業 高 等 学 校	ホッケー	
海 部 高 等 学 校	バスケットボール	
鳴 門 高 等 学 校		陸上競技
鳴 門 市 立 鳴 門 工 業 高 等 学 校	硬式野球	
阿 波 高 等 学 校	柔道	
穴 吹 高 等 学 校	レスリング	
脇 町 高 等 学 校		ソフトテニス
美 馬 商 業 高 等 学 校	陸上競技 (駅伝)	
貞 光 工 業 高 等 学 校	ラグビーフットボール	
辻 高 等 学 校		ソフトボール

前期選抜における各高等学校個別の出願書類一覧

- 1 前期選抜では、所定の出願書類のほかに、次の表に示した各高等学校個別の出願書類があります。
- 2 県の様式（「中学校時代の学校内外の活動の記録」様式第9号、「志望理由書」様式第10-1号、「自己表現調査票」様式第11号）を用いる場合は○印を、各高等学校独自の様式を用いる場合は☆印を付けています。
- 3 各高等学校独自の様式は、各高等学校ホームページに掲載しています。

【全日制の課程】

学校名	学科名	出願要件ア					出願要件イ				出願要件ウ			
		自己表現 調査票	実技検査 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他	自己表現 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他	自己表現 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他
城 東	普通科				○		○	☆			○	☆		
城 南	普通科				○		○	○	○		○	○	○	
	応用数理科				○									
城 北	普通科						○	○				○		
城ノ内	普通科							○	○			○	○	
徳島北	普通科						○	☆						
	国際英語科													
徳島市立	普通科						☆	☆				☆		
	理数科													
城 西	農業科学科				○		○	○	○					
	総合学科				○		○	○	○					
城西神山	生活科				○									
	造園土木科				○									
徳島科学技術	総合科学類						○	○			○	○		
	機械技術類						○	○			○	○		
	電気技術類						○	○			○	○		
	建設技術類						○	○			○	○		
	海洋科学類						○	○			○	○		
	海洋技術類						○	○			○	○		
徳島商業	総合科学類	☆					☆	☆				☆		
小松島	普通科						○	○						
小松島西	商業科				○		○	○	○			○	○	
	食物科				○		○	○	○			○	○	
	生活文化科				○		○	○	○			○	○	
	福祉科				○		○	○	○			○	○	
勝 浦	普通科				○		☆		○					
	園芸科				○		☆		○					
富岡東	普通科							○				○		
	商業科							○				○		
富岡東羽ノ浦	看護科				○									
富岡西	普通科						○	○						
	理数科													
阿南工業	工業類							○				○		
新 野	総合学科					☆※1	○	○	○	☆※1				

※1 検査教科希望票

学校名	学科名	出願要件ア					出願要件イ				出願要件ウ			
		自己表現 調査票	実技検査 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他	自己表現 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他	自己表現 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他
那賀	普通科				○			○	○					
海部	普通科						○	○			○	○		
	情報ビジネス科						○	○			○	○		
	数理科学科													
鳴門	普通科					☆	○	○			○	○		
鳴門第一	総合学科	☆※2					☆※2	○						
鳴門工業	工業類				○			☆	○			☆	○	
板野	普通科						○	○	○					
名西	普通科						○	○						
	芸術科(音楽)		☆	○										
	芸術科(美術)			○										
	芸術科(書道)			○										
鳴島商業	商業科				○			○	○					
	経営情報科				○			○	○					
川島	普通科						○	○						
阿波	普通科						○	○	○		○	○	○	
阿波農業	農業科学科							○						
	園芸科学科							○						
阿波西	普通科				○			○	○					
穴吹	普通科				○			○	○			○	○	
脇町	普通科				○			☆	○			☆	○	
美馬商業	商業科	☆※2						○	○			○	○	
貞光工業	電気科				○			○	○			○	○	
	機械科				○			○	○			○	○	
	建設科				○			○	○			○	○	
辻	普通科					○※3	○				○	○		
池田	普通科						○	○						
三好	生物資源類						○	○						
	ビジネス類						○	○						

※2 自己表現用資料（自己アピール文）

※3 生徒会活動，ボランティア活動，人権活動分野を受検する者は提出

【定時制の課程】

学校名	学科名	出願要件ア					出願要件イ				出願要件ウ			
		自己表現 調査票	実技検査 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他	自己表現 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他	自己表現 調査票	活動 記録	志望 理由書	その他
徳島中央	普通科(昼間部午前)				○									
	普通科(昼間部午後)				○									
池田	普通科				○									

別表 3

後期選抜，第2次募集における各高等学校個別の選抜内容

- 1 後期選抜の選抜資料は，調査書，学力検査，面接及び実技検査です。面接方法（個人面接又は集団面接），実技検査の実施の有無については，各高等学校が定めることにしています。
- 2 第2次募集の選抜資料は，調査書，作文，面接，学校指定教科の検査及び実技検査です。学校指定教科の検査や実技検査の実施の有無については，各高等学校が定めることにしています。
- 3 後期選抜，第2次募集における各高等学校個別の選抜内容については，次の表のとおりです。

【全日制の課程】

学 校 名	後期選抜		2次募集		備 考	
	面接方法		実技 検査	教科 検査		実技 検査
	個人	集団				
城 東	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
城 南	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語の検査を行う。
城 北	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語の検査を行う。
城 ノ内	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
徳 島 北	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
徳 島 市 立	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語の検査を行う。
城 西	○					
城西神山	○					
徳島科学技術	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学の検査を行う。
徳島商業	○					
小 松 島	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
小松島西	○					
勝 浦	○					
富 岡 東	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
富岡東羽ノ浦	○					
富 岡 西	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
阿南工業	○					
新 野	○					
那 賀	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
海 部	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語の検査を行う。
鳴 門	○					
鳴門第一	○					
鳴門工業	○					
板 野	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語の検査を行う。
名 西	○		○		○	実技検査(後期選抜，第2次募集)は芸術科のみ行う。具体的内容は33ページ別記5参照。
鴨島商業	○					
川 島	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
阿 波	○					
阿波農業	○					
阿 波 西	○			○		教科の検査(第2次募集)は，国語，数学の検査を行う。
穴 吹	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
脇 町	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
美馬商業	○					
貞光工業		○		○		教科の検査(第2次募集)は，数学の検査を行う。
辻	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
池 田	○			○		教科の検査(第2次募集)は，数学，英語に関する口頭試問を行う。
三 好	○			○		教科の検査(第2次募集)は，国語，数学，英語の検査を行う。

【定時制の課程】

学 校 名	後期選抜		2次募集		備 考	
	面接方法		実技 検査	教科 検査		実技 検査
	個人	集団				
徳島中央	○					
徳島科学技術	○					
富 岡 東	○					
鳴 門	○					
名 西	○					
池 田	○					